

オニヤンマの一生

オニヤンマは、たまごから成虫になるまで3年から4年かかりますが、成虫は3か月ほどで死をむかえます。さなぎにはなりません。

たまごをうむ



交尾



7月 から 9月

オスはメスをつかまえてつながる



10月 成虫は死をむかえる。

オニヤンマのすむところ

オニヤンマは北海道から沖縄まで日本の広い地いきにすむ。幼虫は、まわりに木がしげる川や水田の用水路、小川などですこす。



たまご

夏のおわり

幼虫 (ヤゴ)



からだの長さ 約 2mm

秋



からだの長さ 約 17mm



からだの長さ 約 25mm

し芽

水田の用水路

幼虫のまま、3~4回冬をこす。

はねになるところ(し芽)がはつきりと見える。

成熟すると オスは川にそってパトロールする



目は緑色になる。

羽化したあと 2~3週間、えものをとってから おとなになる(成熟する)のをまつ。



7月 から 9月

羽化



目ははい色。

4年目 7月



終齢幼虫

からだの長さ 45~50mm

3年目 秋

後ろはねのし芽は、はらの第4節までできている。



からだの長さ 約 32mm

あと2回脱皮すると、幼虫さいごのすがたになる。



からだの長さ 約 40mm

後ろはねのし芽は、はらの第3節までできている。今年のうちに脱皮して来年は成虫になる。